

「上をそそうに、下を律儀に」

山上宗二が残した茶書、『山上宗二記』において、茶人の在り様をはじめ、もてなし・茶室・懐石・灰形・取り合わせの在り様に至るまで提唱されていた「そそう(麁相)」こそ、数寄茶湯の原点であり、哲学である。

藝道における修行論の研究を通して、「守破離」の「離」の境地、そこから生まれる「自然体」の姿としての「そそう」を見出す。

東アジア三国を貫いて響きあう、「そそうの哲学」試論。

【目次】

序 倉澤行洋

序章

藝道の定義／藝道の修行論についての先行研究／本書の構成と研究方法

第一章 藝道における修行の段階論

多段階論／三段階論／二段階論

第二章 『山上宗二記』における修行論

「茶禅一味」の修行論／名人の修行論／茶人の修行論

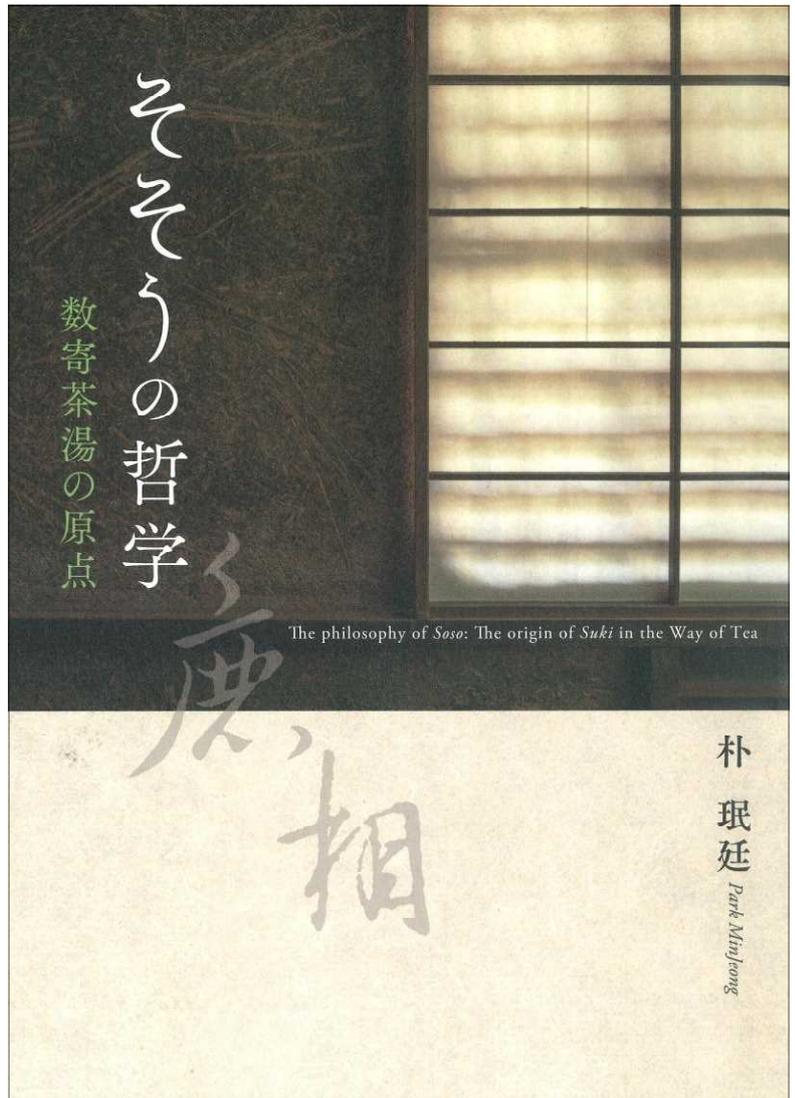
第三章 数寄茶湯の風体「そそう」

「そそう」の風体の登場／茶書にみる「そそう」／山上宗二の風体論／「そそう」が登場する三つの背景／山上宗二の「そそう」の特徴／「そそう」の事例

第四章 「守破離」

「守破離」の由来／修行の三段階としての「守破離」／茶道伝書にみる「守破離」

終章 「そそう」の現代的意義



朴珉廷著『そそうの哲学—数寄茶湯の原点—』
A5判上製・272頁／定価:本体 5,000円+税
ISBN:978-4-7842-1966-7

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-533-6860 fax.075-531-0009
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	そそうの哲学 数寄茶湯の原点	本体5,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1966-7	
お名前		tel		本書HPのQRコード	
ご住所	〒	e-mail			
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料600円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				

熊倉功夫著作集 [全7巻]

熊倉功夫著

文化史の諸領域にわたり茶の湯を軸として、鋭敏な感覚で鮮やかに本質を明らかにする著作集全7巻。

【構成】①茶の湯一心とかたち—②茶の湯と茶人の歴史—③近代茶道史の研究—④近代数寄者の茶の湯—⑤寛永文化の研究—⑥民芸と近代—⑦日本料理文化史

▶A5判・平均500頁／(各)本体7,000円【分売可】

武野紹鷗 わびの創造

戸田勝久先生喜寿記念論集刊行会編

裏千家今日庵業跡であり、教授者(茶名宗安)と併せて、永年茶の湯研究に従事してきた戸田勝久先生の喜寿を記念し、武野紹鷗を基軸として、斯界の論者24人が原稿を持ち寄った論集。

【内容】Ⅰ紹鷗像とその茶の伝統／Ⅱ禅と文芸／Ⅲ好みとわびの表現／Ⅳ武野紹鷗に寄せて

▶A5判・614頁／本体12,000円

ISBN978-4-7842-1471-6

新・小堀遠州の書状

小堀宗実著

「綺麗さび」とよばれる新たな境地を茶道にもたらした小堀遠州。その書状からは、古田織部、松花堂昭乗、伊達忠宗ほか、当時の高名な文化人や大名などとの広いネットワークがうかがえる。江戸初期の社会とそこで生きた遠州の苦悩や人となりを、遠州茶道宗家十三世小堀宗実家元の解説により読み解く。

▶B5判・166頁／本体4,200円

ISBN978-4-7842-1886-8

茶の湯とイエズス会宣教師 中世の異文化交流

スミットニー祐美著

【オンデマンド版】

従来は漠然としか考えられていなかった茶の湯とキリスト教との関係を、ローマイエズス会文書館より収集した本邦初公開の史料をもとに、詳細に明らかにする。そこからは、彼らキリスト教宣教師たちが、いかに茶の湯の精神的側面を高く評価し、茶の湯による接客を重視していたかが浮き彫りになる。(初版2016年)

▶四六判・248頁／本体5,000円

ISBN978-4-7842-7041-5

茶湯百亭百会

白峯顕成著

顕峯院本③

庸軒流茶書を翻刻するシリーズの第3弾。本書は、久田宗全の門弟とされる伊丹の町人、有岡道瑞がみずから参席した茶会から百会をまとめた茶会記。顕峯院本を一会ごと掲げ、各種写本との異同を示し、さらに同時代の茶会記との関係もさぐり、茶会記をひもときながら、人物・道具・飾り・料理などの多彩な世界を明かす。

▶A5判・926頁／本体20,000円

ISBN978-4-7842-1793-9

西鶴の文芸と茶の湯

石塚修著

江戸時代前期を代表する作家の一人、井原西鶴。その文芸作品に、いかに当時の茶の湯文化が反映されていたのか、西鶴が浮世草子作家になる以前の俳諧師時代、さらに『好色一代男』から遺稿集にいたるまでの浮世草子作品をとりあげ、その影響関係を検証する。「わび茶」の美意識が、西鶴の人間観照の鋭さにも深く関わっていたのである。

▶A5判・316頁／本体6,000円

ISBN978-4-7842-1730-4

茶譜 [全2冊]

谷晃・矢ヶ崎善太郎校訂

茶湯古典叢書⑤

近世茶書としては最も大部にして体系的なものの一つである茶譜(全18冊)は、利休・織部・遠州・宗和・宗旦のそれぞれの茶匠とその時代の茶の湯を、確かな情報に基づいて茶の湯の分野ごとに再編集したものである。西尾市岩瀬文庫蔵本を底本とし、現存する諸本と校合して全編活字化。挿図についても別冊の写真版で全て収録。

▶A5判・本文篇756頁・図版篇168頁／本体20,000円 ISBN978-4-7842-1528-7

庭と建築の煎茶文化 近代数寄空間をよみとく

尼崎博正・麓和善・矢ヶ崎善太郎編著

煎茶に興じた数寄者たちの好みや背後にある煎茶文化をふまえないと近代数寄空間(庭・建築)は理解できない。大正以降、茶の湯の流行とともに煎茶文化が陰に隠れても、庭・建築に取り入れられた煎茶的な趣向は、茶の湯の世界と融合し、新たな近代数寄空間を形成していったからである。近代数寄空間に新たな解釈を提示する一書。

▶A5判・352頁／本体5,500円

ISBN978-4-7842-1944-5

講座 日本茶の湯全史 [全3巻]

茶の湯文化学会編

茶の湯文化学会の創立20周年記念出版。時代を輪切りにしながら見る本編と、茶の湯の重要な要素を通史として見渡す特論からなりたち、さらに各巻には時代別の概説と研究の手引き、参考文献を掲げ、研究課題を提示することで、初学者にはもちろん、さらに深く茶の湯研究を志す人にとってのハンドブック的な要素ももたせる。

▶四六判・平均330頁／(各)本体2,500円【分売可】

元伯宗旦の研究

中村静子著

「利休の孫」として知られる元伯宗旦——その生涯は病気がちで不明な部分が多く、残された史料から全体的な姿を解明することは難しい。徳川幕府体制が確立し、大名茶全盛を迎えた時代に、誰に仕えることなく自身の茶の湯を追求し続けた宗旦の姿を、多数の史料を丁寧に読み解くことで複眼的に究明する。

▶A5判・430頁／本体7,800円

ISBN978-4-7842-1760-1

「千種」物語 二つの海を渡った唐物茶壺

竹内順一、岡佳子、R・コート、A・M・ワツキー編

13、4世紀頃に中国で生まれたひとつの壺が、日本に伝わり、「千種」の銘を与えられ、名物となった。唐物茶壺「千種」の歴史的な変遷を経系に、「千種」をめぐる多様な文化事象を緯糸に織りなされた、壮大な物語。日本、アメリカ、中国の研究者による、歴史、美術、考古学、科学などの多角的な分野を網羅した最新の研究成果を収録。

▶A5判・284頁／本体3,200円

ISBN978-4-7842-1870-7

織豊期の茶会と政治 【オンデマンド版】

竹本千鶴著

織田信長による名物茶器をしつらえた茶会の場を、従来のようにわび茶の史の変遷の一齣として見ていくのではなく、室町殿中の座敷飾りが段階的に発展した「大名茶湯」として捉えて、中世史の中に位置付け、織田・豊臣政権における支配構造の一側面を茶会の場を通して明らかにする。

▶A5判・476頁／本体9,500円

ISBN978-4-7842-7007-1

茶の湯 恩籙抄

戸田勝久著

裏千家今日庵業跡として、教授者(茶名宗安)と併せて、茶の湯の研究に従事してきた著者の近年の業績を集成。今日庵歴代一人ひとりについての論考「裏千家 今日庵歴代」、茶の湯ゆかりの人物をめぐる茶の湯の精髓が語られる「茶の湯掃苔抄」、時空を自在に行き来する「江戸東京茶の湯散歩」の3部構成。

▶A5判・652頁／本体5,500円

ISBN978-4-7842-1751-9

片桐石州茶書

谷晃・矢ヶ崎善太郎校訂

茶湯古典叢書⑦

『石州三百箇条』の流布本を整理し、その基本に位置すると考えられる「怡溪系」、多くの系統の中で比較的内容が豊富な「醉翁系」、そして千家の立場から『石州三百箇条』の内容について述べた異色の「不白系」の三系統からそれぞれ底本と校合本を選び翻刻・校合した一書。併せて茶室の歴史を明かす上で重要な『大工之書』の翻刻を収録する。

▶A5判・658頁／本体15,500円

ISBN978-4-7842-1758-8

※金森宗和茶書

谷晃校訂

茶湯古典叢書④

底本には金沢市立図書館藤本文庫所蔵の『茶道の書ホ』を、校合には陽明文庫蔵の『金森茶道故実』を用い、陽明本と国会本(流布本)の追加分は別途収録。流布本の一つ藤本文庫蔵『宗和流茶湯書』にみられる付箋と朱書書込・墨書書込も該当箇所に掲げた。茶会記は現在所在判明のものすべてを収録。

▶A5判・490頁／本体12,500円

ISBN4-7842-0944-1

茶の湯空間の近代 世界を見据えた和風建築

桐浴邦夫著

近代数寄屋建築の数少ない専門家である著者が、茶の湯の系譜を考慮しつつ、「茶の湯空間」が近代においてどのように理解されてきたのかを読み解く試み。近年、国内においても伝統建築の保存や活用についての関心が高まっている状況において、近代和風建築関連の諸研究にも資する。【平成30年度茶道文化学術奨励賞受賞】

▶A5判・280頁／本体5,800円

ISBN978-4-7842-1930-8

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年2回無料でお送りしています。

電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。 ※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。